

都市づくりフォーラム 第9回

都市づくりトピックス

<健康なまちづくり～タウンモビリティについて>

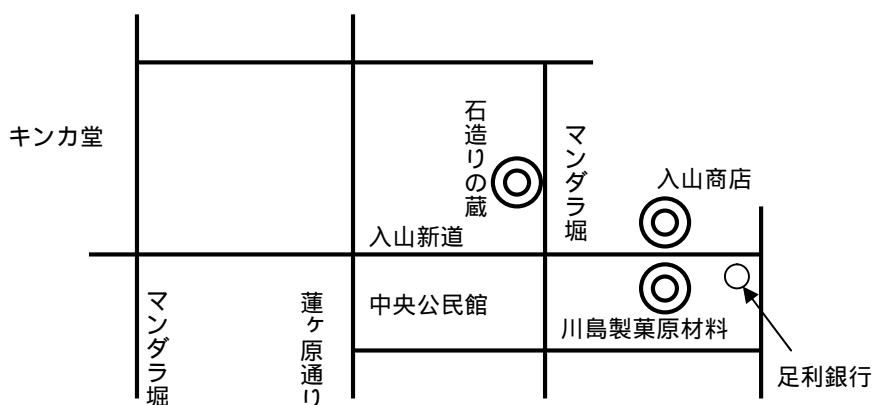
「まちなかどこでも誰でも楽々お出かけシステム」タウンモビリティを言いかえるところになります。タウンモビリティとは、元タイギリスで始まったもので、高齢者や障害者など移動に不安を持つ人に電動スクーターや車椅子を貸し出して、商店街や街なかを自由に楽しんでもらう「外出支援」システムのことです。

これを進めるには、市民、企業、行政の協働が欠かせないとのことですが、導入した街では、高齢者や障害者が元気になって医療費が節減されたり、異なった世代間の交流が増えたりしたほか、商店街の活性化、売り上げの増加、街のバリアフリー化が進むなどの効果があったようです。つまり、タウンモビリティにより人も街も「健康」になったのです。これからは、健康に年を重ねられるような、街が高齢者を支える仕組みづくりをつくっていくことが重要だと思います。

羽生のいいところミーック

<歴史の宝庫、入山新道その4>

入山新道周辺には史跡が多く残っていますが、古い建築物も点在しています。大きな蔵や木造の民家や商店など、古き良き時代を偲ばせるような重厚なつくりが見られます。これらの建物は現役で活躍中であり、まさに歴史の生き証人といえるものです。昨今は古い街並みが見直され、そういう街を訪れる人も増えているようですが、羽生市にも川島製菓原材料さんや入山商店さんなど、味のある建物が健在です。暖かい日に散歩を楽しんでみるのはいかがでしょうか。ひとりひとりに新たな発見があるかもしれません。



市民フォーラム

1月18日の埼玉新聞に、羽生市内で河川浄化に取り組んでいる市民団体の皆さんが紹介されていました。これは、炭を使って川をきれいにしようというもので、市もその活動を支援しています。

現在検討中の「羽生市の協働による地域づくり推進事業」は、まさにこのような活動を支援することをいいます。この事業は、生活環境と地域コミュニティの向上を目的としており、市民が主体となって行う道路側溝の蓋掛けや公共空間への草花の植樹といった地域づくりに対し、行政が支援を行うものです。

河川浄化のきっかけは「自分たちの川をきれいにしたかった」という気持ちだったといえます。同じように「自分たちの住む地域を少しでも良くしたい」という気持ちが誰にでもあると思います。市は、それに応えられるような仕組みづくりを進めています。皆さんの地域づくりに対する意見を引き続きお待ちしております。

市民フォーラムへのご意見やいいところミーッケへの情報提供先は

都市計画課（内線 275）

FAX 561 - 6380

email toshikei@city.hanyu.lg.jp



川島製菓原材料



石造りの蔵



入山商店